



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 立花エレテック

コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊武雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当

(氏名) 住谷正志

TEL 06-6539-2718

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,974	10.6	1,776	30.4	2,118	28.9	1,105	41.9
23年3月期第2四半期	55,120	24.3	1,362	448.6	1,643	373.5	778	269.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 725百万円 (127.3%) 23年3月期第2四半期 319百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	53.19	—
23年3月期第2四半期	37.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	73,334	35,743	48.7
23年3月期	74,393	35,269	47.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 35,679百万円 23年3月期 35,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	5.0	2,800	△5.3	3,430	△3.2	2,150	2.9	103.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,381,102 株	23年3月期	21,381,102 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	601,610 株	23年3月期	601,576 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	20,779,513 株	23年3月期2Q	20,780,198 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により、企業活動が大きく低下するなか一時的に生産や供給が滞る事態となりましたが、予想以上の回復により景気は次第に持ち直してまいりました。しかしながら、原発事故による電力供給問題や更なる円高が進行するなど企業収益は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社企業グループは、国内では震災によりF A機器やマイコンなど多くの商品が供給不足に陥るなか、代替品の提案を行うなど供給責任を果たすために鋭意努力してまいりました。

一方、海外戦略としてF Aシステム事業のさらなる拡充を図り、立花機電貿易（上海）有限公司にF Aシステム事業担当執行役員を常駐派遣するとともに、中国・武漢に産業メカトロニクス製品を展示販売するショールームを併設した営業所を開設し、昨年の北京支店及び深圳支店の開設に引き続き、販売ネットワークの構築を積極的に推進いたしました。

加えて、徹底した営業力強化と体質改善の取り組みを実践すべく、体質改善プロジェクト「C. A. P. U P 1500」を強力に継続推進してまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間の売上高は609億74百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益17億76百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益21億18百万円（前年同期比28.9%増）、四半期純利益11億5百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

報告セグメント別については以下の通りであります。

〔F Aシステム事業〕

売上高:287億40百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益:11億66百万円(前年同期比66.6%増)

F A機器分野は、半導体・液晶・LED製造装置メーカー向けに、インバータ、ACサーボ、プログラマブルコントローラなどの主力製品が伸長いたしました。産業機械分野は、自動車関連が震災から早期に回復したことや海外案件の増加に伴いレーザー加工機が大幅に伸長するとともにワイヤカット放電加工機も順調に推移いたしました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高:232億30百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益:7億9百万円(前年同期比0.0%増)

半導体分野は、震災により特にマイコンの供給が困難となりましたが、自社ソフト開発をした代替品で補うなど調達に努め、カーエレクトロニクス関連機器や家電製品向けにマイコンや専用ICが前年を上回りました。また、エアコン用パワー素子も順調に推移いたしました。電子デバイス分野は、複写機用密着イメージセンサーが減少いたしました。コンデンサや液晶パネルが好調に推移いたしました。

〔情報通信事業〕

売上高:21億30百万円(前年同期比4.6%減)、営業損失:1億9百万円(前年同期は1億38百万円の損失)

情報通信分野は、自治体や銀行向けシンクライアント端末、駐車場・駐輪場向けRFIDタグシステム関連が、また、主要取引先向けパソコン・周辺機器及びタッチパネルが堅調に推移いたしました。一方、映像監視セキュリティ用のカメラが大幅に減少いたしました。

〔施設事業〕

売上高:51億65百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益:17百万円(前年同期比88.9%減)

設備機器分野は、上期前半の供給不足によりエコキュートが前年を下回りましたが、電力不足を意識した更新需要に伴い、ビル用マルチエアコンや店舗用パッケージエアコンなどの冷熱品及びルームエア

コンが順調に推移いたしました。ビル・工場設備分野は、大型建築物の受注により特高受配電設備が大幅に伸びました。また、産業用太陽光発電システムの受注も増加し売上に貢献いたしました。

【ソリューション事業】

売上高：3億40百万円（前年同期比11.0%増）、営業損失：57百万円（前年同期は84百万円の損失）

環境エネルギー分野は、住宅用太陽光発電が減少したものの、産業用太陽光発電システムの受注が大きく伸びました。省エネ・効率化ソリューション分野は、ビル・工場の監視制御システムなどの受注により前年を上回りました。

【貿易】

売上高：13億66百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益：50百万円（前年同期比118.2%増）

貿易分野は、鉄道車両向けの受注減少により内装機材や金属加工品が低調な推移となりましたが、取り扱い品種の積極的な開拓・開発などにより立体駐車場向けフレーム材及び船舶用配管部材が順調に推移いたしました。電子部品材料分野は、電子部品製造メーカー向けチップコンデンサー用ニッケルペーストが大幅に減少いたしました。

（注）報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第2四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

海外売上高については次の通りであります。

売上高：79億63百万円（前年同期比31.7%増）

中国経済の成長を受けて日系メーカーに加え、中国ローカル企業への積極的な拡販活動を推進し、マイコンや専用ICなどの半導体が大幅に伸びました。

なお、海外売上高比率は13.1%であります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、733億34百万円となり前連結会計年度末に比べ10億59百万円減少いたしました。

流動資産は607億75百万円となり前連結会計年度末に比べ14億32百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少18億44百万円と有価証券の減少4億78百万円、たな卸資産の増加8億88百万円によるものであります。

固定資産は125億59百万円となり前連結会計年度末に比べ3億72百万円増加いたしました。この主な要因は、投資その他の資産の増加4億86百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、375億90百万円となり前連結会計年度末比15億34百万円減少いたしました。

流動負債は340億4百万円となり前連結会計年度末に比べ12億83百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少12億37百万円によるものであります。

固定負債は35億85百万円となり前連結会計年度末に比べ2億50百万円減少いたしました。主な増減は、訴訟損失引当金の増加3億30百万円と長期借入金の減少1億円、負ののれんの減少2億52百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、357億43百万円となり前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加8億56百万円とその他有価証券評価差額金の減少3億67百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、100億35百万円となり前連結会計年度末に比べ21億30百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億77百万円の支出（前年同期は3億84百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少額11億47百万円、法人税等の支払額11億68百万円などの減少と税金等調整前四半期純利益16億79百万円などの増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億32百万円の支出（前年同期は3億26百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出9億8百万円、有価証券の償還による収入6億60百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億95百万円の支出（前年同期は2億3百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の減少による支出1億17百万円、長期借入金の返済による支出1億27百万円、配当金の支払額2億49百万円、長期借入による収入1億円などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、売上高及び営業利益、経常利益、四半期純利益ともに当初の業績予想を上回る結果となりましたが、景気の先行き不透明感が増していることから通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました当初の業績予想を据え置いております。

なお、詳細につきましては、平成23年10月27日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）追加情報

（訴訟損失引当金）

訴訟に対する損失に備えるため、これまでの経過等の状況に基づき、将来発生する可能性のある損失見込額を合理的に見積り計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,129	11,285
受取手形及び売掛金	37,695	37,541
有価証券	810	331
たな卸資産	8,158	9,047
その他	2,477	2,640
貸倒引当金	△64	△70
流動資産合計	62,207	60,775
固定資産		
有形固定資産	3,778	3,692
無形固定資産	350	321
投資その他の資産		
投資有価証券	6,997	6,977
その他	1,148	1,685
貸倒引当金	△88	△117
投資その他の資産合計	8,057	8,544
固定資産合計	12,186	12,559
資産合計	74,393	73,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,896	27,658
短期借入金	2,398	2,354
未払法人税等	1,251	645
賞与引当金	834	835
その他	1,906	2,511
流動負債合計	35,287	34,004
固定負債		
長期借入金	771	671
退職給付引当金	678	687
訴訟損失引当金	—	330
負ののれん	1,884	1,631
その他	502	265
固定負債合計	3,836	3,585
負債合計	39,124	37,590

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,692	5,692
資本剰余金	5,571	5,571
利益剰余金	24,048	24,904
自己株式	△495	△495
株主資本合計	34,816	35,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	476
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	△456	△467
その他の包括利益累計額合計	388	6
少数株主持分	64	64
純資産合計	35,269	35,743
負債純資産合計	74,393	73,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	55,120	60,974
売上原価	47,541	52,848
売上総利益	7,578	8,125
販売費及び一般管理費	6,215	6,349
営業利益	1,362	1,776
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	63	77
負ののれん償却額	252	252
その他	90	135
営業外収益合計	419	481
営業外費用		
支払利息	21	21
売上割引	77	91
為替差損	16	6
その他	22	19
営業外費用合計	138	138
経常利益	1,643	2,118
特別利益		
投資有価証券売却益	—	14
貸倒引当金戻入額	32	—
負ののれん発生益	64	—
特別利益合計	96	14
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	322	118
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
事業構造改善費用	63	—
訴訟損失引当金繰入額	—	330
特別損失合計	394	453
税金等調整前四半期純利益	1,346	1,679
法人税等	565	572
少数株主損益調整前四半期純利益	781	1,107
少数株主利益	2	1
四半期純利益	778	1,105

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	781	1,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△389	△367
繰延ヘッジ損益	△7	△3
為替換算調整勘定	△65	△11
その他の包括利益合計	△461	△381
四半期包括利益	319	725
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	723
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,346	1,679
減価償却費	178	170
負ののれん償却額	△252	△252
負ののれん発生益	△64	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△129	34
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	330
受取利息及び受取配当金	△77	△92
支払利息	21	21
為替差損益 (△は益)	△16	16
投資有価証券評価損益 (△は益)	322	118
売上債権の増減額 (△は増加)	△807	262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,811	△897
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,719	△1,147
その他	9	△225
小計	439	18
利息及び配当金の受取額	78	93
利息の支払額	△21	△21
法人税等の支払額	△111	△1,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	384	△1,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△600	△50
有形固定資産の取得による支出	△24	△21
投資有価証券の取得による支出	△8	△908
投資有価証券の売却による収入	—	35
有価証券の償還による収入	100	660
投資有価証券の償還による収入	—	50
その他	207	△398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326	△632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	54	△117
長期借入れによる収入	88	100
長期借入金の返済による支出	△141	△127
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△202	△249
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203	△395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△171	△2,130
現金及び現金同等物の期首残高	13,019	12,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,848	10,035

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	情報通信 事業	施設事業	ソリュー ション 事業	海外事業			
売上高									
外部顧客への売上高	26,316	20,205	2,232	4,607	306	1,450	55,120	—	55,120
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,316	20,205	2,232	4,607	306	1,450	55,120	—	55,120
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	700	709	△138	153	△84	22	1,362	—	1,362

当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	情報通信 事業	施設事業	ソリュー ション 事業	貿 易			
売上高									
外部顧客への売上高	28,740	23,230	2,130	5,165	340	1,366	60,974	—	60,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	28,740	23,230	2,130	5,165	340	1,366	60,974	—	60,974
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,166	709	△109	17	△57	50	1,776	—	1,776

（注）報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第２四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

＜参考情報＞

ご参考までに、地域ごとの売上高は、以下の通りであります。

前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
49,073	6,007	39	55,120

当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
53,010	7,931	31	60,974

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。